



兵庫支部NEWS H24年 1月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)

ホームページ <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> メール hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座:00980-2-245822

口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

新年 あけましておめでとうございます
今年も兵庫支部活動をよろしくご支援の程お願い申し上げます

北九州市立大学同窓会兵庫支部役員一同



神戸港に昇る初日の出

(諏訪山公園ヴィーナズブリッジから)

平成24年1月1日午前7時9分

年頭所感

「心と心が伝わり合う」同窓会

北九州市立大学同窓会会長 田村允雄(42商)



(田村会長)

もたらした人々の苦痛が癒されない年

越しであれば、むべなるかなということでしょう。

ただ、救いがあるとするならば、被災地の人々の生活再建にむけた「人と人を結ぶ絆」の大切さをすべての日本人があらためて確かめ合ったことです。被災地も政府も今年を「復興元年」と位置付けています。これを後押しするために私たちの「同窓の絆」の出番がこれからも有形無形に控えていることは間違いありません。

多分、同じような気持ちで同窓会兵庫支部会員の皆さんも新年を迎えられたのでは、と推察しています。その根拠は阪神大震災を経験された支部でもあり、東日本大震災の発生から間を置かずして支部運営費からの拠出、役員有志、チャリティオークションなど3口の被災地救援金を寄託された経緯があるからです。加えて、安徳信義支部長をはじめ、支部役員会の皆さんが「心と心が伝わり合う」支部運営を心掛けておられる、と拝察しているからでもあります。これらについては、心から敬意を表します。

ところで、この「兵庫支部NEWS」は月刊ですから本号で創刊10周年になると思いますが、毎号のメイン記事の「歩こう会」「熊野街道を歩く」は、その実践はもとより、毎月の紙面製作に携わる名越英昭編集長の使命感やバイタリティーには脱帽するばかりです。「元気で楽しい同窓会」の象徴として今年も精力的なニュース発信を祈っています。

年頭所感

「奮い辰年に」新年のご挨拶

北九州市立大学同窓会兵庫支部長 安徳信義(44商)



(安徳支部長)

が母校の同窓会総会のキーワードにもなりました。現地では絆需要なる状況も生まれている様子も見受けられます。

私たち兵庫支部同窓会はこれまで、強い「絆」で結ばれていることを誇りとしてきました。17年前の1・17阪神・淡路大震災の後、三金会の開催場所であるワシントンホテルには、それまで以上の数の会員が集い、お互いの無事を確認し合うと同時に、堀江支部長のもと支部会員の被災状況の把握に努めました。それ迄に同窓会本部と八幡支部から頂いていた義援金を速やかに家屋が被災した会員に配分しました。

この度の震災で、改めて「絆」の重みを感じています。今後同窓会としてより強い「絆」のもと兵庫支部会員を巻き込み、さらなる地域社会に根ざした貢献を担えるよう肝に銘じているところです。支部を運営する上で重要な財源の一つは、運営協力金という形で浄財を頂くようになって3年目を迎えました。また本部からの助成金の増額などもあり、支部活動も今迄以上に活発になるよう努力しなければならないと決意を新たにす次第です。

関西支部との連携強化、女性の会「スマレ会」のスタート、将棋クラブの立ち上げ等など、皆様方と共に役員一同も支部活動を活発に積極的に楽しんで行きたいものです。今年はテレビ大河ドラマで「平清盛」が取り上げられ、地元商店街はここぞとばかり「昇龍」を期待し観光客の誘致に奔走しています。(次頁につづく)

年頭所感

新体制で第2期中期計画取り組み中

北九州市立大学学長 近藤倫明



北九州市立大学同窓会兵庫支部の皆さん、明けましておめでとうございます。平成24年の年頭にあたり大学を代表して一言、ご挨拶いたします。

昨年、平成23年4月より大学は新体制で第2期6年間の中期計画に基づく大学運営をスタートいたしました。

(近藤学長) 「地域に根ざし、時代をリードする人材の育成と知の創造」をスローガンに掲げ、選ばれる大学(母校)を目指して、教職員一同、中期計画の実現に向けて改革に取り組んでいます。昨年3月には、ひびきのキャンパスの国際環境工学部創設10周年を記念して校歌に新たに4、5番が加わり、北方とひびきの両キャンパスの連携もますます強まっています。

同じく3月には、北方キャンパスに「青嵐門」が完成し、モノレール駅からのアクセスがスムーズになりました。この新たな門のスロープの先には同窓会館があり、スロープを上ると最初に飛び込んできます。

第2期中期計画期間には、北方キャンパスに新たな図書館を建設する予定です。今年はその為の基本設計の作業を進めるなど、市とともに計画的に取り組みます。また、平成28年度には、本学が創設70周年の記念の年を迎えます。4月には、創設70周年記念プロジェクトを立ち上げ、祝賀の準備を進める予定です。

兵庫支部NEWS H23年12月号を拝見しますと、兵庫支部の活動記録に年間40回の活動と延べ372人の参加者が記載されており、このことから活発な交流が続いていることが窺われます。

北九州市立大学は、地域に愛され、同窓の皆さんに愛され、教職員学生に愛されるよう、これからも着実な歩みを続けます。新たな年もどうぞ変わらぬご支援を頂きますようよろしくお願いいたします。

(前頁より)

「奮い辰年に」新年のご挨拶 (つづき)

この兵庫支部NEWSをご購読されている他支部の方も、観光ついでに「三金会」をのぞいて見られてはいかがでしょうか。中華街の入口にある三金会会場である「本館牡丹園」の中華料理は美味しいですよ!

「三金会」「囲碁の会」会場ご案内

本館牡丹園

神戸市中央区元町通1丁目11-20

電話 078-332-4588 FAX 078-392-3020

J R元町駅東口海側下車、南へ(大丸方面へ)徒歩1

「三金会」

毎月第三金曜日 午後6時～

会費:3,500円(男性)

2,000円(女性)

「囲碁の会」

毎月第三金曜日 午後3時～

参加費:無料、ドリンク/500円



年頭所感

先ずは高齢パワーで行こう!

北九州市立大学同窓会兵庫支部幹事長 山田純昭(44歳)



皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は、大震災に原発事故やヨーロッパ各国の財政、金融危機での混乱等暗いニュースが多い年でした。今年は明るく希望の持てる年になって欲しいと思います。

(山田幹事長) 兵庫支部では、総会や三金会、囲碁の会、歩こう会、ゴルフコンペ等、他支部にも増して活発な活動が行われている事は、周知のことかと思えます。

ただ、いつも同じメンバーしか出席しない、若い人の参加が無い等、課題を抱えていることも事実です。このことは、どこの同窓会でも悩みの種であり永遠のテーマであると思います。活性化するにはどうするかもっと若い人が参加するにはどうすればいいか等、兵庫支部では、過去色々試みてみましたが成果は上がりませんでした。

そこで、今年には田村会長の言われる「高齢パワー」を兵庫支部でも発揮する事が大切だと思いました。時代にマッチした同窓会活動をしようではありませんか。

今までも高齢の同窓生の集まりでしたが、まだまだ参加者は少ないと思います。現在、兵庫支部には、S44年卒以上(65歳以上)が約120名います。仕事をしている人もいますが、自由になる時間は多いと思います。是非、活動に参加する事を期待します。

とは言ってもあまり顔を出さない人には、やはり参加しにくいと思いますが、そこは、「難易楽探」(北友会会報Vol.105田村会長挨拶文)の精神で、難しく考えないで、気楽に参加してもらいたいと思います。同窓会の絆は強く楽しいものです。

超高齢化社会日本では、益々高齢者の経験や知恵が必要です。同窓会でも同じです。先ずは我々が、率先垂範して若い世代を引っ張って行きましょう。

私自身も今年目標として、毎月の「三金会」「歩こう会」には参加すると決めて、この一年間は活動したいと思っています。

若い世代の諸君、さあどうする!!

The Alumni association Hyogo Branch
of The University of Kitakyushu

Alumnus are most welcome to



SHANTI

Shanti means Peace

INDIAN RESTAURANT SHANTI

JR-ASHIYA 5FL 0797-35-4807

Please access www.ethnic.co.jp

年頭雑感

今年も「歩こう会」に多数のご参加を!!

北九州市立大学同窓会兵庫支部

「歩こう会」会長 二宮慶治郎(38米英) 兵庫支部会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。



(二宮会長)

昨年の「歩こう会」は下表の通り、第113回から第124回まで無事故で実施され大変嬉しく思っています。2月の金剛山登山と6月のBBQ大会はともに恒例行事として定着し会員の皆様の多数のご参加をいただいております。

昨年は12回のうち6回は県外での実施となりましたが、県内にも未訪問の景勝地もまだまだ多くあります。おりから今年はNHKの大河ドラマで「平清盛」が放映されることとなり、史跡に足を運び兵庫の歴史を学び、先人の偉業を学ぶなど、大いに皆様のご参加をいただけるような企画をして行きたいと思っております。

「歩こう会」に参加される、わが兵庫支部の会員の皆様も年齢層が高くなりつつありますが、昨今の“歩け、歩け”のブームに負けず、史跡や景観を求めて、今年も京都や奈良など便利になった交通の便を利用して各地を探索しましょう。筋トレ、スポーツも大事ですが、「歩こう会」は歩くだけでも楽しい一日を過ごす事が出来ます。

本年も多くの支部会員の皆様のご参加をお待ちしております。

記

平成23年「歩こう会」実施状況

第113回	1月 9日(日)	生駒山登山	7名
第114回	2月10日(日)	金剛山登山	12名
第115回	3月13日(日)	再度山登山	14名
第116回	4月10日(日)	しあわせの村観桜会	17名
第117回	5月 8日(日)	比叡山	10名
第118回	6月12日(日)	鳥原貯水池BBQ	11名
第119回	7月10日(日)	油コブシ登山	5名
第120回	8月14日(日)	書写山登山	6名
第121回	9月11日(日)	若山登山(太閤道)	3名
第122回	10月 9日(日)	梅尾、高尾、清滝	8名
第123回	11月13日(日)	小塩山(淳和天皇陵)	4名
第124回	12月11日(日)	陶の郷、作陶体験	9名



第116回しあわせの村にて

第120回書写山園教寺前

兵庫支部月例会「三金会」12月例会

12月16日開催の三金会出席者は5人でした。

左から

- 名越英昭(37米)
- 大村実良(33商)
- 安徳信義(44商)
- 平間正昭(37商)
- 二宮慶治郎(38米)
- 明亮店主夫人



年頭挨拶

囲碁の好きな人、習いたい人待っています

北九州市立大学同窓会兵庫支部

「囲碁の会」会長 平間正昭(37商) 明けましておめでとうございます。年頭にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。



(平間会長)

「囲碁の会」は平成13年7月に行われました兵庫支部総会において故銭谷勘一郎氏の提案により創設されました。

毎月第三金曜日に「三金会」の始る前の午後3時から6時まで囲碁大好きなメンバーが集まり囲碁を楽しんでいます。最近は午後2時から始めるようになっていきます。

毎年4月と10月には関西支部の囲碁同好会の方々との交流会を行っており、今年で9年目を迎えることになりました。今年3月24日～25日に特別企画として宝塚に一泊し交流を深めたいと思っています。囲碁のお好きな方々はご遠慮なくご参加下さい。

また、これから囲碁を始めたいと思われておられる方々は、第3金曜日に「本館牡丹園」3Fにお越しください。現在は大岡8段の指導のもと8名でリーグ戦を行っていますが、一人でも多くの囲碁の好きな人、習いたい人のご参加をお待ちしています。

平成24年度春季兵庫・関西囲碁交流会

特別企画:泊まり込み囲碁三昧特別大会ご案内

第18回を迎える兵庫・関西囲碁交流会は特別企画として、下記の通り、一泊二日で実施されることになった。囲碁好きな方々のご参加お待ちしております。

記

1. 開催年月日:平成24年3月24日(土)～25日(日)
2. 開催場所: 東洋紡健保組合保要所「対嵐荘」
宝塚市栄町3-10-17 Tel.0797-86-6221
(阪急宝塚駅南でうり口右へ(西へ)、交差点を左折橋の手前で左折し、右折する橋を渡り直ぐ)



3. 集合日時・場所: 3月24日(土)午後1時 対嵐荘フロント前
4. 費用: 1泊2日7000円+飲物代
5. 解散: 3月25日(日)朝食後、午前10時ごろ
6. 入浴時間: 午後4時から翌朝7時まで
7. 参加申込先: 兵庫支部囲碁の会
平間正昭 携帯090-7870-9445
Tel/Fax 0727-94-8482
関西支部囲碁同好会
都留 猛 Tel. 06-6875-0262
8. 申込締切日: 1月25日(水)

初日の出ウォークと初詣

支部代表3人がきっちりお願いしました

平成24年元旦の朝は穏やかな夜明けを迎え、例年に比べ早い時間に、日の出は生駒山辺りの稜線から現れた。日の出時刻7時6分とされていたが9分頃にはしっかりと日の出が見られ(一面の写真参照)、例年より遅れて到着した筆者を慌てさせた。いつもは厚い雲に覆われて、日の出時刻よりも10~15分位遅れてやっと顔をだしてくれるのだが...



(生田神社本殿前で)

元町駅に時間通りに集合したのは安徳支部長のみ。二宮会長と筆者は後から追っかけて日の出時間になんとか間に合った。天龍寺・再度公園への登山道“大師道”にある燈籠茶屋迄足を伸ばし、そこで名物のおでんを肴に持参の酒で祝杯を挙げて、約1時間のウォーキングで生田神社に初詣。北九州から来たという初詣ツアーと一緒に言葉をお互いに交わす。後は例年通り謝美華さん手造りの料理で新年会。

「歩こう会」12月例会

作陶を楽しんだ一日

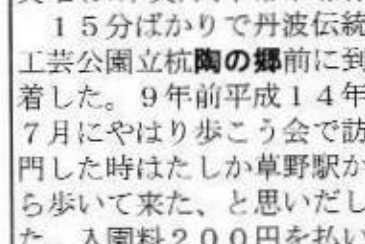
でも予定外のウォーキングも

12月11日(日)10時前にJR福知山線相野駅に到着し、駅前に待機している神姫バス立杭焼・清水寺方面行きバス乗り場で陶芸美術館行きバスに乗り込んだ。参加者7~8人と聞いていたが念のため、二宮会長に尋ねると9人だというのが8人までは確認できた。もう一人は何処に?と問うと目の前の女性客だと。女性が振り返りやっとなつて気付いた。歩こう会初参加の西村さんだった。



(相野駅に待機のバス)本日の参加者は(順不同、敬称略)二宮慶治郎(38米英)安徳信義(44商)元田幸治(42商)平間正昭(37商)山田紘昭(44商)西村洋子(41米英)名越英昭(37米英)岡本常市(会友)安藤陽子(会友)計9名

15分ばかりで丹波伝統工芸公園立杭陶の郷前に到着した。9年前平成14年7月にやはり歩こう会で訪問した時はたしか草野駅から歩いて来た、と思いだした。入園料200円を払い園内に入り陶芸教室のある(9年前を思い出しながら陶の郷へ)伝習会館へ。大、900g1500円、小、500g900円で小を送料込みで1500円を払い作業テーブルに向う。



同時に入館した20人ばかりの他の団体さんとともに教室の指導者の作業要領や注意事項を聞いて、いよいよ製作作業に取り掛かる。二宮氏は大で、他は小で、ちよっぴり童心に返り暫く粘土を捏ねる作業を続ける



(指導者の説明に耳を傾け)

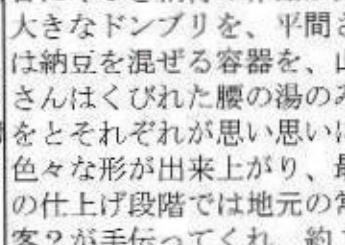


(元田、山田、安藤、岡本、二宮)



(平間、西村、安徳)

事前に二宮会長から製作物のイメージを考えておくようにと指示があり、西村さんは見本持参で波型の縁のお皿に挑戦し、作っては崩し、作っては崩して3度目にやっと納得の作品が出来たようです。二宮会長は大きなドンブリを、平間さんは納豆を混ぜる容器を、山田さんはくびれた腰の湯のみ?をとそれぞれが思い思いに、色々な形が出来上がり、最後の仕上げ段階では地元の常連客?が手伝ってくれ、約1時間半後には皆さんの作品が出揃ったところで作品を前に記念写真を撮る。



(地元常連客が手伝い)



(名越、二宮、岡本、安藤、安徳、元田、西村、平間、山田)

作品の焼き上がりは2月になるとか、2月の三金会の席で皆さんに披露できると良いのだが。



(参加者9人の作品です)

昼食は館内での飲食禁止のため、弁当持参組は館外の吹きさらしの中で、弁当を持たぬ人は食堂で温かいうどんなどをすすったようだ。

昼食後は隣接の兵庫陶芸美術館で折しも開催されていた「荒木高子展」を観賞、砂の聖書、点字の聖書等様々な形の聖書の陶芸作品が展示されていた。

美術館前でも一度記念写真を撮り相野



(兵庫陶芸美術館前で)

駅行バス13:11発に間に合いそうだったが、天気も良いし、時間もまだ早いという事で相野駅までの5~6キロを歩く事にした。安徳・山田・岡本の3人は篠山へ足を伸ばし「ポタン鍋」の腹ごなしだとか。

「歩こう会」2月例会

樹氷が美しい金剛山登山

2月12日(日)南海高野線難波駅集合 南海・河内長野駅からバスで登山口へ 集合時間等詳細は二宮歩こう会会長に問い合わせ

Tel/Fax 078-851-1875 携帯 090-5010-4954

E-mail: ninom406@skyblue.ocn.ne.jp